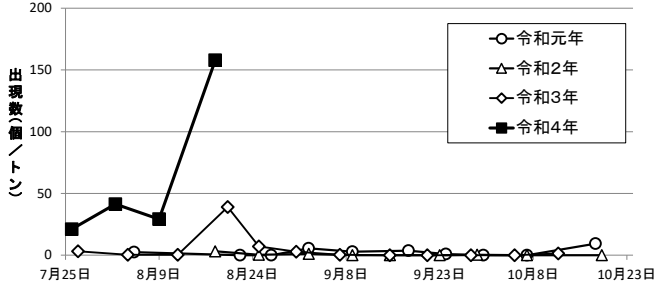


◎サロマ湖付着生物ラーバ出現状況

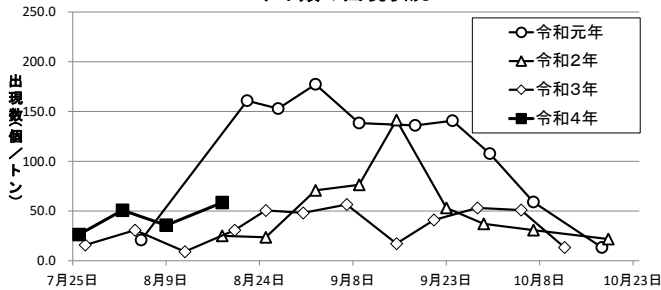
サロマ湖 4 地点で付着生物のラーバ調査を行った結果、イガイ(シュウリガイ)ラーバは平均で 2,103 個/トン出現しており、240~260 μ m の大型個体が増加していました。付着サイズのラーバは 158 個/トン出現しており、先週よりも大幅に増加していました。

ホヤ類(エボヤ、ユウレイボヤ、ザラボヤ)のラーバは 59 個/トン出現しており、先週よりもやや増加していました。

付着サイズのイガイラーバ出現状況



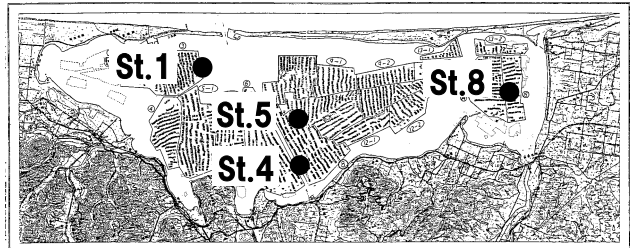
ホヤ類の出現状況



イガイラーバの出現状況

	St. 1	St. 4	St. 5	St. 8	平均
140 ~ 150	201.2	28.8	0.0	12.1	60.5
150 ~ 160	335.3	48.0	32.6	24.2	110.0
160 ~ 170	424.7	95.9	21.8	157.1	174.9
170 ~ 180	335.3	124.7	54.4	241.7	189.0
180 ~ 190	313.0	124.7	32.6	241.7	178.0
190 ~ 200	313.0	86.3	76.2	169.2	161.2
200 ~ 210	156.5	95.9	65.3	132.9	112.7
210 ~ 220	402.4	67.1	54.4	96.7	155.2
220 ~ 230	313.0	86.3	76.2	120.8	149.1
230 ~ 240	424.7	172.7	65.3	72.5	183.8
240 ~ 250	760.1	134.3	87.1	36.3	254.4
250 ~ 260	447.1	239.8	141.5	36.3	216.2
260 ~ 270	67.1	153.5	174.1	36.3	107.7
270 ~ 280	22.4	38.4	65.3	12.1	34.5
280 ~ 290	0.0	28.8	10.9	0.0	9.9
290 ~ 300	22.4	0.0	0.0	0.0	5.6
合計	4,538.1	1,525.2	957.7	1,389.6	2,102.6
200 μ m以上	2,615.5	1,016.8	740.0	543.8	1,229.0
	57.6%	66.7%	77.3%	39.1%	58.5%
260 μ m以上	111.8	220.6	250.3	48.3	157.8
	2.5%	14.5%	26.1%	3.5%	7.5%
ホヤ類	53.6	78.5	72.1	29.6	58.5

付着物ラーバ関連調査地点図



◎サロマ湖水質状況

8月18日に湖内中央部ブイ5の水温(°C)、溶存酸素(mg/L)、塩分(‰)を測定しました。

その結果、水温は表面から水深1mまでで22°Cを上回っていました。

溶存酸素は底から水深17mまでで5mg/Lを下回っていました。

塩分は表面から水深50cmまでで30‰を下回っていました。

作業の際はブイのデータを注視して行うようにしてください。

